

上高地の林檎の里で

秋

宮下奈都

松本の駅に着いたときから、東京とは空気が違っていった。

友人に誘われて、新宿から特急に乗った。私は少し疲れていて、友人もなんとなくぼつとしないで、停滞していたふたりの二泊三日の東京脱出計画だった。列車は混んでいて、空気が澁んでいた。おやつを食べても、くだらない話をして笑っても、私たちの気持ちほどこか晴れなかった。

松本の駅で降りた。これから松本電鉄に乗って、上高地の麓まで行く。終点から二つ手前の波田という駅に、友人の友人の家があるのだ。

松本駅は都会的で、人も多く、車両も特に変哲のあるものではない。それでも、なんとなく空気が軽い。それだけでうれしかった。

松本から、西松本、渚、信濃荒井、大庭、とほとんど一、二分刻みで駅に着く。町並みは東京の私鉄沿線とそう変わらないのに、駅舎が信じられないくらい簡素だ。故郷の町を思い出した。

二十数分で、波田に着いた。降りたら、秋だった。空が高く、空気がぴんと張って、香ばしいような匂いがたつぷり混じっている。駅には友人の友人が迎えに来てくれていた。

彼女の車で林の中を上っていく。この辺が林檎の特産地だと聞いてはいたけれど、車で案内される間、ほんとうに林檎の木ばかりだった。まるで指輪やネックレスをかけるスタンドのように、きらきらと枝を広げて立っている。しなやかな緑葉の下に、色づきは

じめた林檎が輝いていて、思わず見惚れた。

友人の友人の家は林檎の専業農家だった。風がさわやかで、家のまわりに林檎のやさしい香りが漂っている。向こうに日本アルプスの山々が聳え立ち、梓川が流れ、なんてきれいな場所なんだろうと思った。

別世界。そういつてしまうとあまりにも簡単だけれど、つい何時間か前まで自分のいた場所とは遠く隔たっているのを感じた。美しく、気高い、別世界。

家に泊めてもらっているんな話をした。友人の友人と私は同じ歳だった。東京近郊で生まれ育ち、東京の大学を出て、この土地に嫁いできたのだという。読んできた本や、好きな音楽が似

みんな

CONTENTS
Vol.
43
2012

◎日本民営鉄道協会とは？
昭和42年に社団法人として設立され、71社の民営鉄道会社で組織されています。
輸送力の増強と安全輸送の確保を促進し、鉄道事業の健全な発達を図り、
もって国民経済の発展に寄与することを目的とした活動を行っております。
なお、JR各社や公営地下鉄などは加入していません。

- 08
REPORT I
小田急電鉄の
箱根観光輸送
- 小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部 旅客営業部 課長 室橋正和
 - 小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部 運転車両部 課長 田島寛之

- 04
TOP INTERVIEW
特集／観光ブランドの確立と共演
「小田急ロマンスカーと箱根観光」
- 鉄道と観光地が
一体となって
箱根の魅力を
高める。
- 小田急電鉄株式会社 取締役社長 山木利満

- 02
上高地の林檎の里で
- 作家 宮下奈都
- 四つの季節の鉄道ものがたり―第二話 秋

- 30
●首都大学東京非常勤講師 藤本一美
- 28
富士急行株式会社
連載④ 大正・昭和の鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界
- 26
みんてつだより
連載④ 地方民鉄紀行

- 22
●ノンフィクション作家 山口由美
- 箱根人の視点、箱根人の思い。
- 22
特別寄稿
箱根町長 山口昇士

- 18
SPECIAL INTERVIEW
全山一体で「箱根」を育てる。
- 箱根町長 山口昇士
- 14
REPORT II
小田急箱根グループが創造する
新たな「箱根」の魅力
- 小田急箱根ホールディングス株式会社
取締役営業統括部長 鈴木滋

- 13
Interview Column
ロマンスカーVSEの
「特別な旅の時間」
- 建築家 岡部憲明

「ここは別世界みたいにきれいだね」
私がいうと、彼女は笑った。
「別じゃないよ、同じ世界だよ」
はっとした。東京から特急で二時間
半、松本からは上高地線でひと駅ずつ
上ってきたここは、別世界のような
そうではない。あたりまえのことだ。
彼女たちが毎日林檎の樹と向き合いな
がら暮らしている、地続きの世界だ。
いいことばかりでもないけれど、悪い
ことばかりでもない。私が行き詰まっ

ていたのも同じ世界、今彼女と打ちと
けて話しているのも同じ世界なのだ。
そう思ったら、ぶるんと身震いが出
た。それからゆつくりと気持ちがほゞ
けていった。
世界は、案外美しいのかもしれない。
私が見ようとしていなかっただけ
で。私が美しくしようと考えてこな
かっただけで。

※現・アルピコ交通株式会社（2011年4月1
日に社名変更）

みやしたなつ
作家。福井県生まれ。上智大学文学部哲学科卒業。
2004年「静かな雨」が文芸界新人賞佳作に入選。
2007年、初の単行本「スコレNo.4」が話題を呼ぶ。近
著に「田舎の紳士服店にモデルの妻」「誰かが足りない」。最
新刊に「窓の向こうのガッシュウイン」（集英社）がある。

